

環日本海環境研究センター特別講演会のご案内

- 日 時：2016年1月26日（火）08:45～10:15
- 場 所：金沢大学自然科学研究科講義棟 203 教室
- 講 師：Dr Hang Peou, カンボジア国立アンコール遺跡整備公団（Autorité pour la Protection du Site et l'Aménagement de la Région d'Angkor, Royaume du Cambodge）環境保全担当副総裁／環日本海環境研究センター研究領域部門陸域環境領域客員教授
- 演 題：アンコール世界遺産における水環境保全事業 —古代水利ネットワークの再利用プロジェクトを中心に—
- 要 旨：カンボジアにあるアンコール世界遺産は、10世紀から16世紀にかけて栄えたクメール帝国が残した寺院や橋梁などの石造建築物群です。アンコールワット寺院がよく知られていますが、石川県の半分にもおよぶ広大な指定区域には約800もの石造建造物があり、熱帯地方に特有の豊かな自然とともに昔ながらの生活を営む住民の存在でも知られています。しかしながら、昨今の世界遺産ブームによって同世界遺産には多数の観光客が世界中から押し寄せるようになり、水や大気などの環境汚染や森林の破壊が顕在化してきました。なかでも、水環境の保全は、地域住民の生活基盤の維持のため、また、豊かな自然環境の保全のため喫緊の問題となっています。

かつてのクメール帝国は水の王国としても知られていました。乾季における生活用水や農業用水の確保のため、また、都市の景観の維持のため、数多くの巨大貯水池や環濠、精緻な灌漑用水路網からなる水利ネットワークが建設されました。しかし、同帝国の衰退とともにこれらの水利施設は放棄されました。この水利施設を現代によみがえらせ、アンコール世界遺産や地域社会の水利環境を整備するとともにこれを持続的に活用しようという事業が国立アンコール遺跡整備公団で進められ、当センターや本学理工学域もこれを支援しています。この講演では、古代水利施設ネットワークの再活用プロジェクトの話題を中心に、アンコール世界遺産での水環境の整備事業について講演いただきます。
- 使用言語：英語（一部通訳）
- 世話部門：連携部門（担当，陸域環境領域 塚脇真二 shinji@se.kanazawa-u.ac.jp）